



自分のためではなく、 人のために働く心が大切

「不安型社会」と言われる昨今、警備会社の役割は大きなものがあります。工事現場の交通整理や安全対策、ビルや事務所の警備など、さまざまなシチュエーションで、日常的に警備のお世話になっていると言っても過言ではありません。地域貢献活動にも積極的な(株)太陽警備保障(高山實社長)の、ユニークな社訓をご紹介します。

「昔

から「かわいいからこそ、叱る」と言いますよね。

人は、厳しくされるからこそ、心身ともに強く、たくましくなっていくます。優しいだけでは、泣いてばかりいるひ弱な人間になってしまいます。私どもの人づくり、企業姿勢を、このような言葉で表現しました」

高山社長の言葉は、同社が警備会社であること、すなわちお客様から信頼される「強さ」

「厳しさ」が要求される業種であることも、無縁ではないでしょう。

人の役に立てる仕事をしたい——そんな想いから警備会社を設立した高山社長の、30年を超える経営者としての経験が、この社訓には詰まっています。

「私は常に「お客様から求められることに100%応えるだけではダメだ、101%」

応えなさい」と言っています。警備会社のプロ、安全安心のプロとして、お客様が気づいていない危険、放置しておくこと事故につながりかねない要因を発見し、教えてさしあげたり、アドバイスしたりできることが、私たちには求められているので「す」

顧客サービスはもとより、地域貢献にも積極的です。

「毎週月曜日に、地域の清掃活動を行っています。これは「地元への恩返し」であると同時に、社員の自己修練でもあります。ゴミを拾うことは、自分の悪い心をゴミと一緒に捨てること。清掃に積極的になれる社員は、勤務にも積極的ですし、人柄も良くなりますね」

同社では、さまざまなイベントに参加し、無料でかき氷やポップコーンなどを作り提供する地域貢献も盛んです。また、震災の被災者に炊き出しを行なうなど、ボランティア活動も可能な限り積極的に行なっています。宇都宮の情報を満載した「宇都宮おもてなしいろいろガイド」を、今年で5年間発

行し続け、多くの人に喜ばれています。

こうした活動は、地域貢献であると同時に、参加した同社社員の人格形成にも役立つと、高山社長は考えています。

「自分のためではなく、人のために働く心を持つことが、大切ではないでしょうか。お客様の信頼に応えることが、私どもの使命なのです」



宇都宮の情報を満載した「宇都宮おもてなしいろいろガイド」



本社社屋

社訓

優しくされて泣くよりも、
厳しくされて強くなれ。

Information

株式会社 太陽警備保障
代表取締役 高山 實
設立/昭和52年
住所/
本社 宇都宮市鶴田町1961
☎ 028-648-1138(代)
☎ 028-648-7695
http://www.taiyo-keibi.co.jp



株式会社太陽警備保障
代表取締役 高山實氏